

マレーシア高等教育事情

開催日時：2018年7月12日(木) 19:00~20:00

情報交換会 20:00~20:45

講演者：日野 智仁氏

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学
企画総務課評価・IR係長

参加者数：大学教職員 11 大学 15 名（うち「会員外」7 大学 9 名）

※上記に加え、「海外SD研修（マレーシア）」参加者（4 大学 6 名、うち「会員外」1 大学 1 名）、「APSSA 国際会議 2018」派遣学生（4 大学 12 名）が、事前研修会として参加した。

1. 講演

日野氏が、「大学マネジメント研究会」主催の「マレーシア・シンガポールの大学視察調査」（2016年11月23日~12月3日）に参加した時に収集した情報と、帰国後に日野氏自身が収集した情報を元に、マレーシアの高等教育の概観と特徴、マレーシア政府の方針、具体的な事例として訪問大学の紹介がされた。



講演中の日野氏

(1) 講演の到達目標（本講演の到達目標として日野氏から提示）

- ① マレーシアの高等教育における特徴について説明することができる。
- ② マレーシアの高等教育の状況と自身の所属大学の状況を比較し、自身の所属大学における国際交流の進展に寄与することができる。

(2) マレーシアの高等教育の概観

（2016年11月30日に高等教育省を訪問した時のプレゼンテーション資料を基にして。）

① 高等教育の規模：

<高等教育機関数>約 600 校（日本における大学数は約 800 校）

<教員数>約 8 万人（日本の大学における教員数は約 18 万人）

<学生数>約 115 万人（日本の大学における学生数は約 280 万人）

<留学生数>約 26 万人、高等教育機関在籍学生数に占める割合は 12%

（日本における外国人留学生数は約 26 万人、高等教育機関在籍留学生の割合は 4%）

- ② 国際化の進展：
 - ・留学生送り出し国から受け入れ国へ
 <留学生受入れ数>1999年は3500人 → 2016年は15万人
 - ・世界大学ランキングを意識
 <国立マラヤ大学>2005年は157位 →2016年は133位 (2019年は87位)
 <University Technology Malaysia>2005年は303位 → 2019年は228位
- ③ 高等教育の質の向上
 - ・高等教育進学率の上昇と就職率の向上を目指す
 - ・「教員」「研究者」「国際的に活躍する人材」「実務家」の育成に注力する
 - ・技術職への教育・訓練を提供する
- ④ 産学連携の推進
 - ・特に国外の企業との連携
- ⑤ 公立大学への予算配分による誘導
- ⑥ 大学に力をつけさせるように政策誘導
- ⑦ 公立大学と私立大学の共通の基準の設置
 - ・学生の流動性を高める
 - ・協働による成果の拡大 など

(3) マレーシアの高等教育の特徴

- ① 社会・政治面から
 - ・国是である「国民統合・民族融和」に基づいた政策や施策
- ② 経済・技術面から
 - ・実学教育による人材の速成により産業構造の変化に対応できる人材を育成
- ③ 教育の質

(企業資本の大学の事例として、BERJAYA University College と SUNWAY University を、現地で日野氏が撮影してきた写真や各大学のホームページのビデオで紹介)

 - ・2007年にマレーシア認証評価委員会を設置
- ④ 国際化<国を越えた高等教育の拠点化>

(具体例として、INTI International University & College の紹介)

 - ・1970年から開始されたブミトラ優先政策（マレー系住民優先政策）により、非マレー系民族の子女は、海外の高等教育機関に留学（外貨として流出）。
 - ・1997年のアジア通貨危機により海外の高等教育をマレーシアに誘致し、私学の開設が活発化。
 - ・現在は、インドネシア、中東、アフリカといったイスラム圏からの留学生が増加し、マレーシア留学から欧米への再留学の起点（Transit Point）となっている。

(具体的な事例としてマレーシア政府が進める「イスカダル計画：マレーシアに強力な国際都市を建設する計画」の中の教育特区の現地風景をビデオで紹介)

2. 情報交換会

情報交換会は、キャンパスポート大阪で開催された。今回の講演には、8月にマレーシアに渡航する「海外SD研修」の参加者や「APSSA 国際会議」派遣学生も参加した。

情報交換会では、マレーシアに渡航する職員が日野氏に直接質問するなど活発な情報交換が行われた。



和気あいあいとした情報交換会

以上

(文責：大学コンソーシアム大阪 SD 研修コーディネーター 塩川 雅美)